

障害者（児）施設・事業版

第三評価結果

※すべての評価細目（19項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の温度調整に気をつけており保護者には上着等の持参を依頼することがあるが、基本的には利用者は自由な服装で過ごすことができる。</li> <li>・利用者の趣味や好きな活動をする時間を確保している。ブランコやトランポリン、ボールプール、散歩、バスケットボール等様々な活動に対応している。活動の際は活動時間を最初に利用者に伝え、タイマーや時計を見せながら支援することで、時間を区切って活動することへの意識づけになっている。</li> </ul>		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	Ⓐ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束を行う際や虐待発見時のマニュアルと対応フローを作成しており、法人全体の職員研修で1年に1回虐待防止・権利擁護研修を行っている。</li> <li>・全員分の身体拘束同意書をとっている。身体拘束同意書は事業所独自の書式を作成し、利用者や保護者に分かりやすい説明に努めている。</li> <li>・過去1年で身体拘束等、権利侵害の事例は発生していない。</li> <li>・職員に対する周知や研修には力を入れているが、利用者に対する周知活動は行っていないとのことなので、今後は利用者に対しても権利侵害の具体的な内容や事例を周知する等、権利侵害の防止に関する周知を行うことを期待する。</li> </ul>		

## A-2 生活支援

		第三者評価 結果
A-2-(1) 支援の基本		
	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の保護者に対し、移動手段の情報提供をしたり療育手帳の取り方について相談を受けたりしている。</li> <li>・利用者の自立への動機づけの支援として、受験生の利用者に3ヶ月のカレンダーを作成し、勉強をした日に印をつけていくことで勉強への取り組み方に見える化する支援を行った。勉強をした事を肯定することで、利用者の自己肯定感と達成感を高めている。</li> <li>・利用者からの預り金はないため、預り金に関する問題は発生していない(該当なし)。</li> </ul>		
	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の発達段階に合わせて、絵カード、ジェスチャー、PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)等、様々な方法でコミュニケーション手段をとっている。PECSを使うことで利用者が自ら選択したり他人に要求を伝えたりできるような支援となっている。</li> <li>・利用者が社会の中で生きていくためのコミュニケーションスキルを高める支援SST(ソーシャルスキルトレーニング)を行っている。</li> </ul>		

	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の活動後に毎回、活動内容をフィードバックする時間を設けており、これが保護者と職員が個別で話す機会となっている。</li> <li>・保護者や利用者から相談があった場合は、随時職員間での情報共有を行う他、毎日行っている朝会で相談内容の報告と会議の日程調整を行い、時間を確保した上で対応の話し合いをしている。相談内容について職員間で対応のズレが無いように、職員間のタイムリーな情報共有を重視している。</li> <li>・相談内容によっては、心理士の対応も行っており、相談者は相談相手を職員か心理士で選択することができる。</li> </ul>		
	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の希望をもとに活動を取り入れており、散歩や長期休暇の際は事業所保有の自転車を利用している。利用者や保護者のニーズはモニタリングの面談や送迎時の情報共有から拾い上げている。</li> <li>・レクリエーションの活動内容をチラシにして保護者に配布したり、事業所に掲示したりして活動について利用者や保護者への情報提供を行っている。</li> </ul>		
	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法士による事業所内研修として、障害特性の理解や遊具の取り扱い等の研修を行うほか、強度行動障害支援者養成研修などの外部研修に参加している。</li> <li>・利用者が安心できるブースづくりをしている。放課後活動室には移動可能な仕切りを立てることで一人ずつ個別の空間を作っている。</li> <li>・学校行事がある日は必ず事前に確認し、下校後の来所時の利用者の様子に応じて事業所での支援や対応を変えている。保護者にも事業所での様子と、学校行事の影響から予想される利用者の変化を伝える等、保護者への伝達も行っている。</li> </ul>		

A-2-(2) 日常的な生活支援		
	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所でおやつを提供している。おやつは利用者の好みや意向に対応し、おやつを希望しない利用者や、苦手なものを他のものに代替する利用者等がいる。</li> <li>・排泄支援は個別の排泄支援手順書を作成し、手順書に沿って支援を行っている。</li> </ul>		
A-2-(3) 生活環境		
	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の清掃と点検は各部屋で担当を割り当てている。基本的には週2回清掃し、掃除確認表に清掃した日付を記入している。1年間担当を固定することで各職員が責任を持って清掃するようにしている。</li> <li>・利用者が他の利用者に影響を及ぼす場合は、何も置いていない個室に移動し、利用者が落ち着くまで個別空間を確保している。</li> <li>・生活環境については1年に1度の保護者アンケートで保護者の意見を募り、それに対する改善策等、事業所の対応と回答を行っている。</li> </ul>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回に加え随時のモニタリング会議で職員間の情報共有と発達段階の確認し、専門職の作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士と連携しながら個別支援計画の作成を行っている。</li> <li>・利用開始時の他、年に1度言語聴覚士と作業療法士が利用者の検査結果報告書を作成し、「理解・認知面」「言語面」「運動面」「検査時の様子」から利用者の全体的な発達段階を確認している。</li> </ul>		

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日来所時に利用者の検温を行い、1学期に1度体重測定をしている。</li> <li>・具体的な事例として、実費で食事を提供している利用者の体重管理のため、身長体重に対して管理栄養士が計算した食事の量を提供している。</li> <li>・同法人内の入所の事業所の看護師と連携しており、嘱託医からは服薬中の薬の処方箋のコピーをもらうなど対応しているが、定期的な説明の機会は設けられていないので、入所事業所の看護師からの説明の機会を定期的に設けるなど、今後の改善に期待する。</li> </ul>		
	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患やアレルギーの利用者は現在該当者なし。長期休暇期間のみ服薬の依頼がある利用者があるので、その際は保護者に服薬支援依頼書の記入をしてもらい、診断名や医療機関名、服薬方法等の確認をしている。</li> <li>・服薬支援を行う際の与薬支援マニュアルを事業所で作成している。</li> <li>・過去1年で誤薬等の問題は発生していない。</li> </ul>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での学習支援については、学習内容を教えるのではなく、学習する習慣をつける目的での支援を行っている。</li> <li>・A型、B型の就労へつながった利用者に対して、就労先に事業所での様子を伝える等、就労先とのつながりの支援を行っている。</li> </ul>		

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の夏休みに公共交通機関を利用して地域のスーパーで買い物をする外出支援を行った。外出支援を行う際は保護者に説明し、同意を得た上で行っている。外出支援は利用者の能力に応じた支援を行い、保護者には外出支援時の利用者の様子や支援内容を報告している。次回の外出支援は冬休みに行う予定となっている。</li> </ul>	
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の家庭内で子育てに関する方針の方向性の違いがある家庭に対して、事業所が家庭内の状況を見ながら保護者に働きかけたり相談に乗ったりし、また地域性を活かして地域の施設等と情報共有して家庭内の関係の改善に関わった事例がある。</li> <li>・利用者の生活状況については、療育後の保護者との個別面談時に随時確認している。</li> </ul>	

### A-3 発達支援

A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の発達に応じて集団療育プログラムと個別療育プログラムを組み合わせる支援している。</li> <li>・療育のプログラムの中には必ず身体を動かす活動を入れており、その活動については作業療法士、また言語が不明瞭な利用者に対しての言語に関する活動については言語聴覚士がプログラム作成に関わっている。</li> </ul>	

#### A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援		
	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
<コメント> ・評価対象外		
	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
<コメント> ・評価対象外		
	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
<コメント> ・評価対象外		